

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(管理 運営用)

I 基本事項

整理番号 873

事業名	足湯施設「足湯・うずのゆ」管理費		予算 科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
				目	観光振興費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	行って楽しい交流・感動の舞台【観光・交流】			
	施策目標	魅力あるふるさと資源を最大活用し、滞在性とアクセス性を高める			

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

施設 の 概 要	設置目的	対 象 (誰を・どのような状況の人を)		
		うずしお観潮・南あわじ温泉郷への観光客および市民		
		意 図 (どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 温泉に足をつけ疲労やストレスを解消する。地元住民も利用ができ、観光客と地元住民との旅のふれあいや仲間との語らいを楽しみながら心身ともにリフレッシュを図る。		
	施設内容	(敷地面積、延床面積、構造、収容人数、駐車台数、付属施設など)		
		施設名称	南あわじ温泉郷「足湯・うずのゆ」	
		所在地	南あわじ市福良甲1528番地7地先	
		設置年度	平成 18 年度	
	稼動状況	(施設の利用状況、稼動状況)		
		南あわじ市の観光拠点のひとつであるなないろ館隣接地に「南あわじ温泉郷」をPRする広告塔として平成18年4月9日オープン。 年間利用者数は68,704人(18年度実績)。 平成18年5月19日にはオープン40日で1万人を突破し、記念セレモニーを実施。 当初は「足湯管理委員会」に運営を委託していたが、平成19年度からは南あわじ市観光協会へ指定管理者として足湯管理業務を委託。		
	施設設置根拠法令等	南あわじ市足湯施設条例		
開館時間	午前 10 時 00 分 ~ 午後 5 時 00 分			
休館日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 祝祭日 (その他) 原則無休(施設保全のための休業あり)			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託			
	委託団体	南あわじ市観光協会		
	委託内容	南あわじ市足湯施設条例第8条の内容		

Ⅲ Do (管理状況、使用料、投入資源等)

管理手法		(委託業種、作業内容、設備・備品内容、修繕内容など)						
		・ボイラー・ポンプ循環機等設備管理 ・温度、水質管理 ・施設内清掃管理 温泉水の入れ替えを月に2～3回実施、清掃は毎日実施、次亜塩素酸ソーダを注入し消毒実施、残留塩素を測定し適正な管理を行う。 平成19年1月に改修工事(トッライト屋根・風除け扉・足洗い場)を実施。						
		施設管理従事職員	市職員	人	委託団体職員	3人	合計	3人
使用料等		受益者負担について(料金体系、根拠法令など)						
		南あわじ市足湯施設条例第5条により「無料」。 「南あわじ温泉郷」を市内外にPRするための広告塔として位置づけている。						
		減免措置(減免内容、根拠法令など)						
資源配分 インプ ト			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
	直接事業費 (千円)		0	8,640	5,311	5,311		
	足湯施設整備費			2,919				
	足湯施設維持管理費			5,721				
	足湯施設指定管理料				5,200	5,200		
	修繕料等需用費				100	100		
	建物損害保険料等役務費				11	11		
	財源 (千円)							
	国							
	県							
	使用料							
	その他							
	一般財源[A]		0	8,640	5,311	5,311		
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	299	0	0		
平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1			
事業量1(事業に要した日数)			10					
事業量2(事業に要した人数)			1					
年間経費([一般財源]+[B])		0	8,939	5,311	5,311			
経費に関する補足説明		平成19年度より指定管理(南あわじ市観光協会)						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
設置目的達成度	成果指標目標値	人	-	36,000	50,000	50,000
	成果指標実績値	人	-	68,704	63,000	
	目標達成度	%	-	190.8	126.0	-
	成果指標	入込客数	単位	人		
	指標算出の考え方	観光動態調査 足湯うずのゆ入込客数				
(達成度の分析、問題点・課題などを記入。) 集客施設に隣接していること、気軽に入れること、珍しいうず潮足浴があること等の要因により、当初予想した入込数を大幅に上回る入込数があり、「南あわじ温泉郷」をPRする上からも大きな効果があったと思う。 防風扉の設置、屋根の改修等の効果として、今後も入込客数が伸びることが予想される。						自己評価 (5点評価) 4
効率性	年間経費	千円	-	8,939	5,311	5,311
	年間利用者数	人	-	68,704	63,000	
	利用者1人当りコスト	千円	-	0.1	0.1	-
	延床面積	m ²	-	86	86	86
	面積1m ² 当りコスト	千円	-	104.4	61.8	61.8
(施設の効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 県民局との申し合わせにより、利用料による収益事業は禁止となっているが、利用者数が多いこともあり1人当りのコストも抑えられており、経費に対しての効果は大きい。 設備の耐用年数は低いと考えられるため、維持管理費がかさんでくる時期が懸念される。						自己評価 (5点評価) 3
必要性	行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共が設置すべきか、市民ニーズはあるかなどを分析、問題点・課題などを記入。) 「南あわじ温泉郷」のPRという目的は達せられており、観光客、地元市民が気軽に利用できる施設としてのニーズはある。					
総合評価	自己評価をふまえた現状分析					
	<p>当初の入込予想を上回る入込客数があり、「南あわじ温泉郷」のPRという目的に関しては大きな貢献をしている。また、地元市民にも好評でリピート率が高い。</p> <p>平成19年度から観光協会へ業務を指定管理委託したが、灯油価格の高騰、施設の改修、利用者のマナー向上等問題点もあり、今後も官民が共生しながら「南あわじ温泉郷」のブランドアップ化を更に推進していくことも必要である。</p> <p>市内の温浴施設・宿泊施設の利用者増につなげていきたい。</p>					

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性及び具体的な改善案	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)	<input type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)
	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し
	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し
	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他
	「南あわじ温泉郷」のブランドアップ化には相当の年月がかかるものと推測されるため、PRの広告塔としての足湯施設には、継続的な取り組みが必要であり、観光客の集客だけではなく、地元市民の心身ともにリフレッシュする場としてのニーズも高い。 また、平成19年度から観光協会へ指定管理委託しているため、現状維持していくことが必要である。	現状維持を前提とするが、使用頻度、経過年月により施設の改修箇所が増えてくることが予想される。大規模改修しなくて済むように、計画的に適切な維持管理を心がけるよう指定管理者への指導も含め、取り組んでいく。
見直しにより見直しの期待される効果		
(現状維持の場合も記入) 廃止・委託の影響	仮に施設を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 観光客、地元住民にとって気軽に利用できるニーズの高い施設であるため、マイナス面が大きい。広告塔としての役割も大きいので、廃止した場合「南あわじ温泉郷」としてのイメージダウンにつながる恐れがある。	
	仮に外部委託した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 既指定管理委託済	
他の類似施設を持つ自治体の動向等		